

今後の感染拡大に備えた対策強化のポイント

参考資料

(病床の確保、臨時の医療施設の整備)

(今夏)

(今後)

デルタ株への置き換わりなどによる
今夏のピーク時

最悪の事態を想定した
次の感染拡大への備え

【ワクチン接種の効果】
若年層のワクチン接種率が
70%に進むことで、
感染者は約5割減*
*ワクチン接種以外の条件は今夏と同一

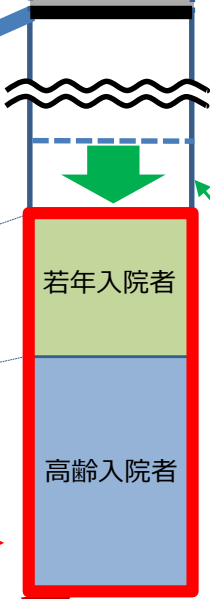
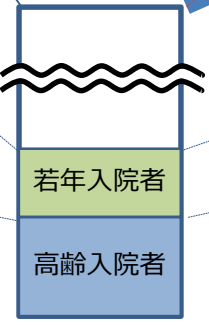
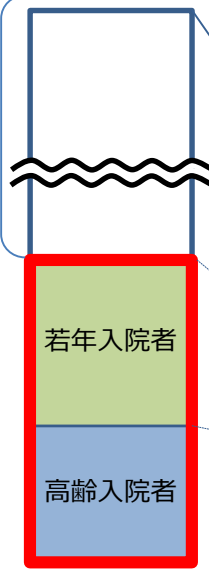
**今夏の2倍程度の
感染力を想定**

若年層の接種率の増加
により、高齢感染者の
割合が増加

自宅・宿泊療養者

要入院者

接種率



若年者 70%
高齢者 90%

入院患者の受入の2割増強

【さらなる感染拡大時】 (感染力が例えば3倍となった場合)
いざという時の強い行動制限
+
一般医療の制限の下、緊急的な病床等を確保するための具体的措置
・国立病院機構・JCHO等の緊急病床確保
・臨時医療施設等の確保・拡大

【自宅療養者等の健康観察・治療】
○地域の医療機関を活用し、陽性判明当日・翌日から速やかに健康観察・治療を実施

【治療薬の確保】
○中和抗体薬の投与
○経口薬の実用化を年内に目指す

【病床の確保、臨時の医療施設等の整備】
入院患者の受入の2割増強を要請
○病床の確実な稼働（8割以上の利用率）
○公的病院の専用病床化・現行法下での権限の発動 ※国立病院機構・JCHOなど
○臨時医療施設・入院待機施設の確保
○医療人材の確保等
○ITを活用した稼働状況の徹底的な見える化

国の主導において行うもの

国・都道府県の連携の下行つもの